

第 3 期十日町市人口ビジョン（概要）

1 策定の趣旨

令和元年 12 月に策定した第 2 期十日町市人口ビジョンでは、人口の将来展望として 2045 年までの人口の見通しを示しているが、人口の推計値と現状値に乖離が生じてきていることから、直近の統計データ等を用いて分析を行うとともに、時代の潮流を踏まえた将来人口の分析や目指すべき将来の方向性、人口の将来展望を示すため、第 3 期の人口ビジョンを策定するもの。

2 これまでの人口ビジョンの策定経過

国	H26. 12 まち・ひと・しごと創生長期ビジョン策定 R 元. 12 まち・ひと・しごと創生長期ビジョン改訂
新潟県	H27. 10 新潟県人口ビジョン R4. 4 新潟県総合計画改定（総合計画に「人口減少問題への対応」を掲載） R7. 3 新潟県総合計画（総合計画に人口ビジョンを位置づけ）
十日町市	H27. 10 十日町市人口ビジョン R 元. 12 第 2 期十日町市人口ビジョン R7. 3 第 3 期十日町市人口ビジョン

3 第 3 期十日町市人口ビジョンの構成

第 1 章 人口の現状分析

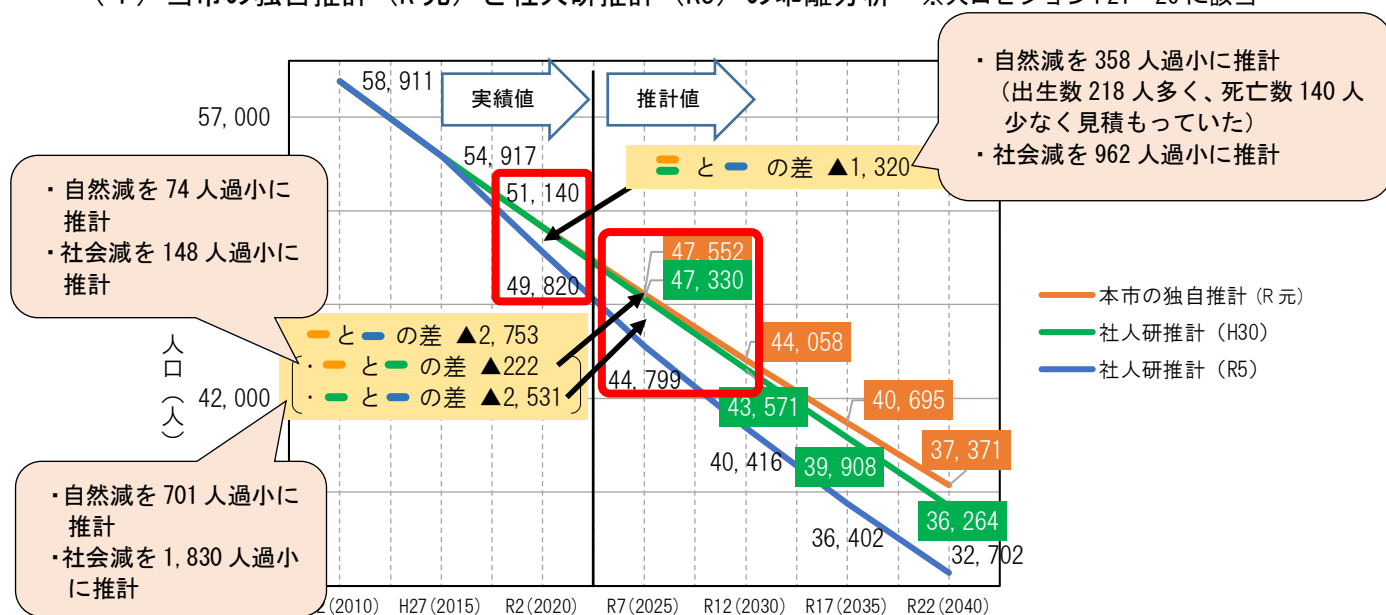
1. 人口動向分析
2. 将来人口の推計とシミュレーション
3. 人口の変化が地域の将来に与える影響の分析・考察
4. アンケート調査の実施概要と結果

第 2 章 人口の将来展望

1. 前回の人口ビジョンの検証
2. 将来人口の分析
3. 目指すべき将来の方向性
4. 人口の将来展望

4 第3期十日町市人口ビジョンの要旨

(1) 当市の独自推計 (R 元) と社人研推計 (R5) の乖離分析 ※人口ビジョン P21～26 に該当



【乖離の要因】

当市の独自推計 (R 元) では、自然減や社会減を過小に推計していたことが要因として考えられる。

【乖離の背景】

- ・想定以上に出生数が減少
- ・想定以上に 15～49 歳女性人口の減少が早く進行
- ・想定以上に若年層の転出超過 (転出理由：職業) の状態が続く

(2) 自然増減・社会増減の影響度 ※人口ビジョン P29・30 に該当

5 段階で整理 (1 : 低 5 : 高)

影響度の分類	十日町市	新潟県
自然増減	3	3
社会増減	4	2

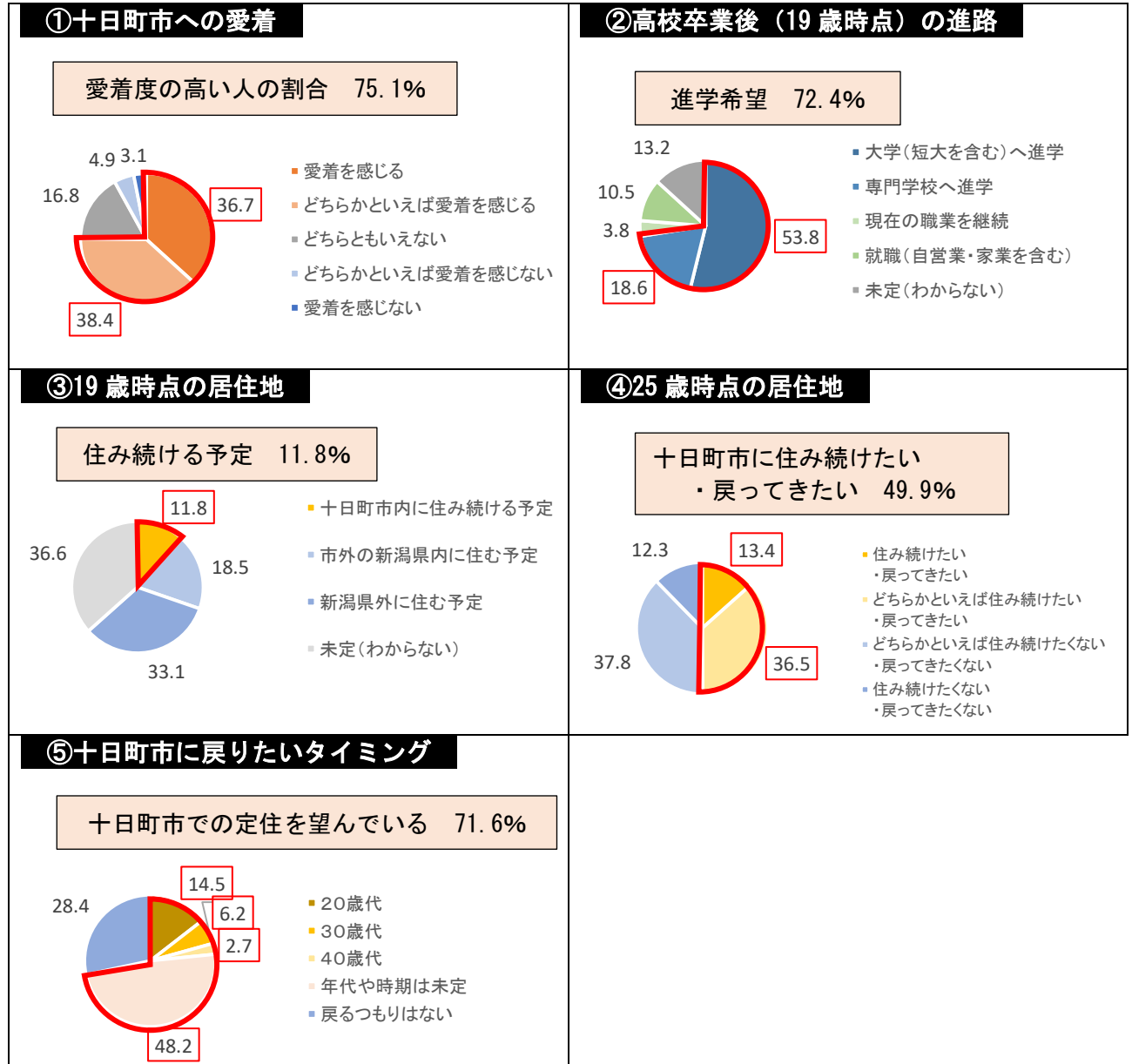
※社会増減による影響度が大きく、引き続き社会減の対策を進めていくことが有効

(3) アンケート調査結果 ※人口ビジョン P35～42 に該当

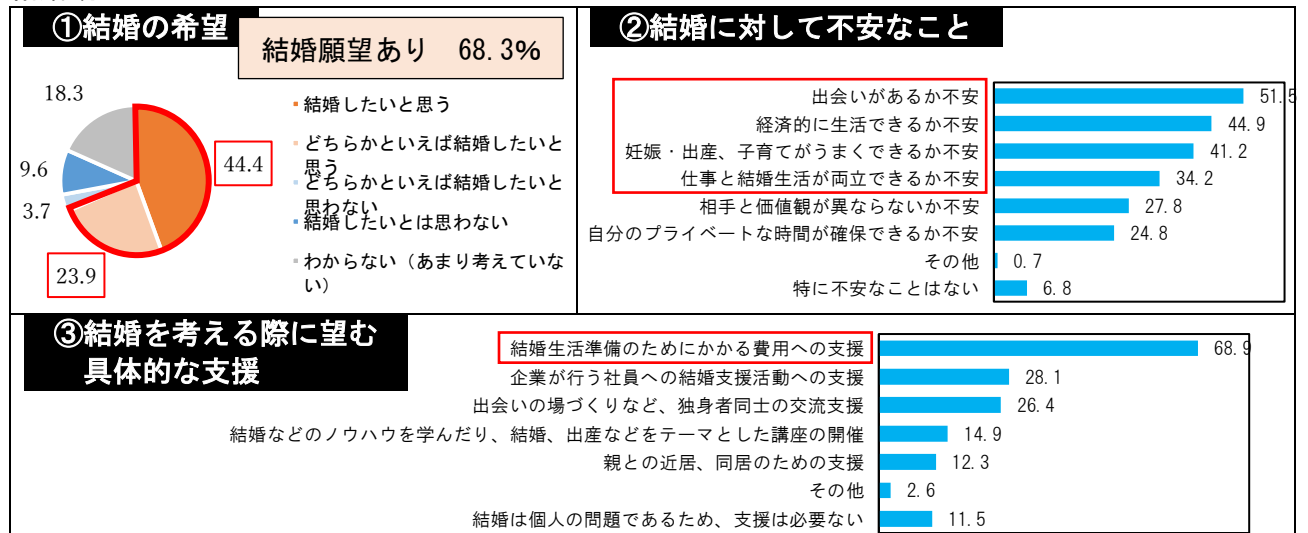
今後の定住意向や結婚観等を探るため、アンケート調査を実施

調査対象	住民登録のある高校 1 年生～22 歳 (R6. 7. 31 現在) の市民
標本数	2,656 人
調査期間	令和 6 年 9 月 24 日～10 月 20 日
調査方法	郵送による配布 ※回答は返送または Web 方式
回収状況	回収数 652 件 (郵送 272 件、Web380 件) 回収率 24.5%
調査内容	1 あなたのことについて 2 今後の進路等 (高校卒業後の進路、19 歳・25 歳時点の居住地、十日町市に戻りたいタイミング、十日町市への愛着の有無) 3 結婚観 (結婚の希望、結婚に対して不安なこと、結婚を考える際に望む具体的な支援)

今後の進路等



結婚観



(4) 目指すべき将来の方向性 ※人口ビジョン P46～49 に該当

人口動向の現状、市民の定住や結婚観等に関する意識等を踏まえ、以下のとおり将来の方向性を提示する。

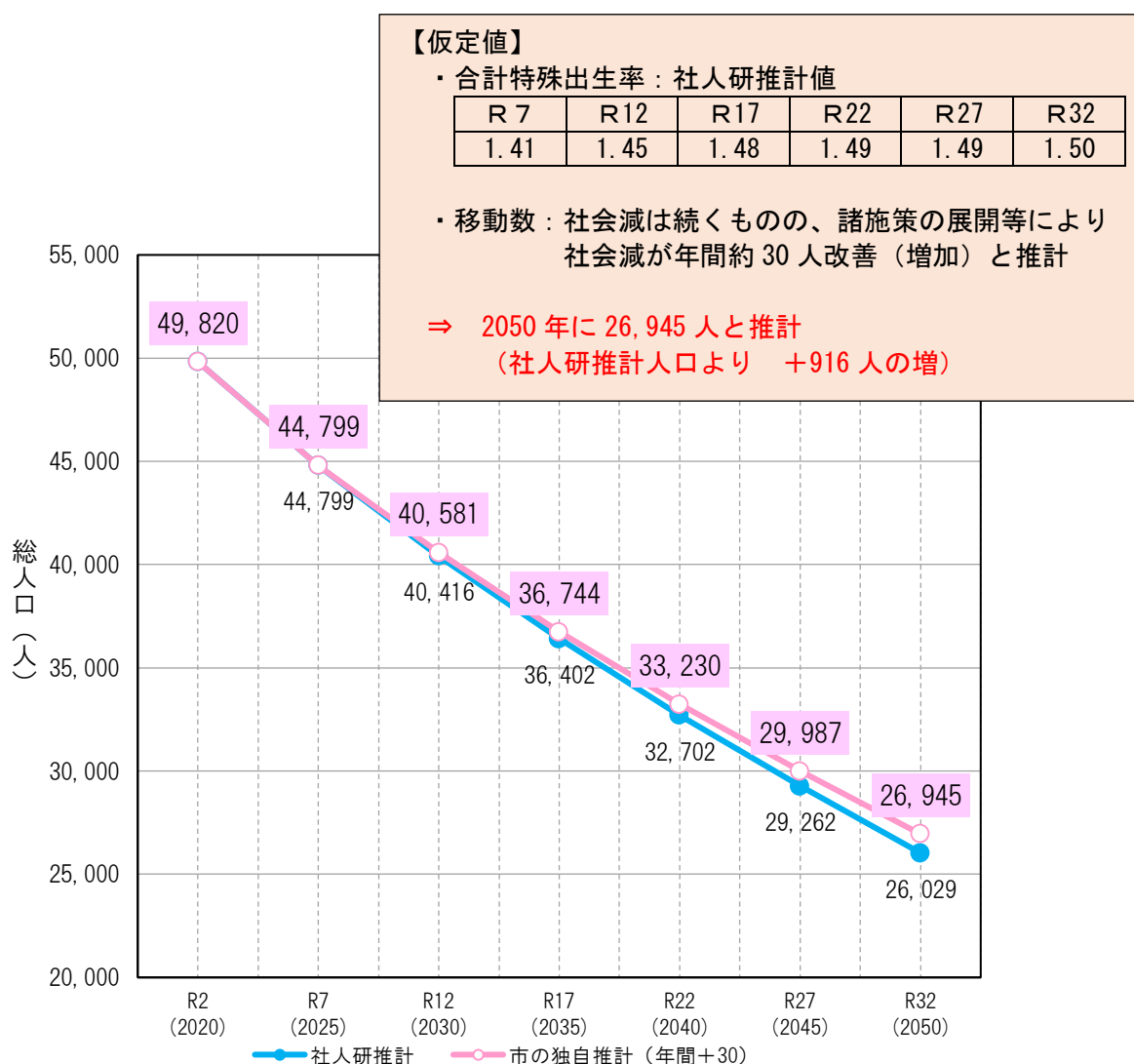
【若者・女性の移住促進に関する方向性】

- ①児童、生徒、学生に向けた郷土愛の育みの推進
- ②若者世代を中心とした就職・転職期におけるU I ターンの促進
- ③女性のU I ターンの推進
- ④地域おこし協力隊や外国人材などのI J ターンの促進

【結婚・子育て支援に関する方向性】

- ①ライフステージに合わせた切れ目のない支援の充実
- ②安心して子どもを育てられる環境づくり
- ③子育ての楽しさや喜びを実感できる社会の実現

(5) 人口の将来展望 ※人口ビジョン P49・50 に該当



5 今後について

目指すべき将来の方向性を踏まえ、現在策定作業を進めている第三次十日町市総合計画において、人口減少対策に焦点を当てた地方版総合戦略を再掲として策定する。